

テクノロジー

OKIの技術戦略

変革のパートナーとして世界中に“新しいあたりまえ”を届ける

OKIの技術戦略についてご紹介します。また、モノづくりの高度化の事例として、製造現場における作業支援システム、自律型搬送ロボット、フィジカルAIなどのデモをご覧いただけます。

■ 展示ストーリー

経営計画2031に基づく技術戦略についてパネルを用いて説明します。具体的には「未来技術」「モノづくり高度化」「現場データ活用」の3領域と「AI」「センシング」「ネットワーク」「ハードウェア」「共通基盤」の5技術について紹介します。

■ 訴求ポイント

POINT 01

3つの技術アプローチ

技術戦略の3つのアプローチとして、「未来技術」「モノづくり高度化」「現場データ活用」を掲げ、技術×クリエイビリティで新たな価値創出を目指します。

POINT 02

R&Dから現場実装へ

OKIは技術戦略に基づいて技術を磨きつつ、自社が持つ工場などでの実証実験を繰り返し、現場のニーズを反映したR&Dに取り組んでいます。最新の工場での取り組み事例や、研究開発段階のプロトタイプ機をご紹介します。

■ OKIだからこそ実現できる理由

- 未来技術
 - － 自社で研究開発部門を有しているため
 - － オープンイノベーションなど協創活動の経験があること
- モノづくり高度化
 - － これまで高品質・高信頼な製品を作りづづけていたこと
 - － 自社で製造部門を有することでフィジカルAIの適用などもカスタマーゼロでスタートできるため
- 現場データ活用
 - － 長年インストールベースの製品が市場に導入されており、保守も含めてデータを活用できるフィールドがあるため

■ 出展品

OKI技術戦略

トレーニング&作業支援システム

現場課題解決を起点とした現場適応型フィジカルAI

現場を止めないロボット運用技術